

市民文芸

短歌

令和四年阿南市春季短歌誌上大会 選

〈題詠〉『友』

優秀賞同点二位

病む友は百歳まで生きしその亡母の写真抱きて
春を待ちおり 吉形 和恵

互選賞一位

友の吹くオカリナ羽を持ちはじめ冗舌となる第
二楽章 森岡 圭子

互選賞二位

実生より育てし臘梅咲き満てど語りたき友花待
たず逝く 湯浅佐智子

互選賞三位

我が友の招かざる客十五年癌という名で胸に棲
みつく 松島 博子

互選賞同点三位

ふと触れた肘を互いに弾き合うあの時はまだ友
達だった 西條 悦子

特選

「もしもーし〝久ちゃん〝節ちゃんですー」友
の大声元気をもらう 近藤 久子

特選

春の風窓越しにみる垂れ梅揺るな散らすな友の
来る迄 谷一 民子

俳句

阿南市俳句連合会 選

日焼して明眸皓齒の球児かな

神原 鹿山

夏帽子さざめく波と戯れて

森 伸

ひまわりの花の高さを照り返し

喜来富士子

牧場の牛ゆつたりと秋の雲

神野千鶴子

訪ねしは凌霄被る門構え

水口 明美

公園のどの木ともなく蟬時雨

田中 栄子

ひまわりや非核非戦のなお遠し

宮繁ただし

なつかしき母の作りし土用餅

近藤ヤス子

稲刈りや岸にドリंक二つ三つ

山川 喜美

紅葉葵ゆるく束ねて風まかせ

大西 裕子

川柳

阿南川柳会 選

言い掛けて焦つて嘘をついている

原 公美子

リハビリのきつい治療に涙する

福良 充雄

バーベキューパパが主役の令和風

持木 寿栄

事故現場そつと手向けてある野菊

渡邊 浪漫

井戸寺から笑顔の法話胸に抱く

二階千代美

私利私欲捨ててやさしい風を待つ

野村 敏子

偶に良し目には毒かも知れないが

橋本 征介

一般応募

八卦見に寡婦と言われて五十年

秋川 和子

トリカブト綺麗な花が抱いた毒

鳥尾美津子

雑談はみんな過去形です八十路

武田 敏子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

浅黄斑

吉形 和恵

斑紋群蝶憩幽英

斑紋の群蝶 幽英に憩い

途次遙遙萬里程

途次遙遙 万里の程

優雅飛飛茅屋裏

優雅に飛ひたり茅屋の裏

待望賓客笑相迎

待望の賓客 笑つて相迎えん

北脇逍遙

田中 公

老翁何忘少年時

老翁何ぞ忘れん少年の時

日下裸躬乘浪嬉

日下の裸躬浪に乗じて嬉しみを

千里海風入秋冷

千里海風 秋に入つて冷やかに

只今惟有白鷗飛

只だ今惟だ白鷗の飛ぶ有るのみ

花士珠寶先生須彌壇献花を賛う

城満 航也

花士搜真絶不慳

花士 真を搜むるに絶えて慳まず

君臺觀記正玄關

君台觀記は 正に玄関なり

秋風一陣搖纖葉

秋風一陣 纖葉を揺らせば

百合巍巍冠九山

百合巍巍として 九山に冠たり

※君台觀記―足利將軍家の柵飾りの指南書。

※九山―仏教の世界観で世界を囲む九つの山のこと。

